

## Happiness<sup>2</sup>な中学校構想 2年次 —— 名門・矢板中 新たなレジェンドに向けた2年次 —

平成27年度矢板市立矢板中学校グランド・デザイン

- 家庭・地域  
・緊密な連携  
・情報交換  
・信頼回復  
・矢板中ブランド力の進化  
・地域の要請に応える矢板中

### 教育目標

生徒一人一人の個性を尊重し、豊かな心と強靭な身体を持ち、自主性と英知に富み、将来国際社会においても信頼を得る人間を育成する。

### 関係法規

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、矢板市教育振興計画等

### 危機意識

・県立中の選考方法変更  
・矢中イメージ、負の連鎖  
・くり返される生徒の荒れ

### 具体目標

●自ら学ぶ生徒<知>

●思いやりのある生徒<心>

●たくましい生徒<体>

### MISSION

## Happiness<sup>2</sup> We create an evolving Yaita J.H.School.

MISSION 遂行のための6本の総括的な考え方

- 1 【総スタッフ制】 生徒、職員、保護者のすべてが学校作りの「スタッフ」である。
- 2 【日々の姿勢】 日々、「笑顔」と「挨拶」、高い「モチベーション」を持つ。
- 3 【キーパーソン】 MISSION推進のキー・パーソンは、「生徒会」と「3年生」である。
- 4 【学びの共同体】 全教科、すべての時間で学び合い学習を展開し、学級や学年、委員会、部活動の中で Happiness<sup>2</sup>を体感する。
- 5 【学年担任制】 個々の生徒や学級の良さを引き出す意味から、学年職員全体で担任する体制を作る。
- 6 【指導の一貫性】 「ダメはダメ！」一貫性、ぶれない生徒指導を（生徒指導方針の再検討とよい集団を伸ばし育てる方策の検証）

### 学校経営方針<3本の戦略>

Happiness<sup>2</sup> 進化する矢板中学校の経営基盤（ミッション）として、全生徒及び全職員が活気と連帯感に満ちた中で、危機的意識を持って学校経営（校務）に参画し、「よい集団」の学校作りを推進していく。

<戦略1> 全職員に対して	<戦略2> 全生徒に対して	<戦略3> 保護者・地域
<p>1. 個々の職員の意識改革 (1) 資質の向上 (2) 使命感と責務の自覚 (3) 愛情と情熱、創造性</p> <p>2. 創意ある教育課程の編制と実践 (1) 分かる・できる Happiness<sup>2</sup> な授業作り (2) 基礎・基本の定着 (3) 「学びの共同体」の実践</p> <p>3. 生徒と職員が共に学ぶ環境の創造 (1) 自校や郷土を大切に心を育てる教育活動</p> <p>4. 学年及び学級経営の充実 (1) 「いじめ」のない好ましい人間関係 (2) 生徒一人一人のよさを伸ばす（よい集団を育てる） (3) よりよい自己実現の図れる教育活動</p> <p>5. カウンセリングやガイダンスの強化 (1) 内面理解と「夢」を持たせるガイダンスの強化 (2) 生命や人権を尊重する心の教育 (3) 倫理観や規範意識の育成</p> <p>6. 生徒指導と生徒会活動の充実 (1) 特別支援教育の理念を基盤 (2) 自主的、意欲的、創造的、活力ある進化する生徒会活動（保）見守りと支援 (3) 一貫性と「荒れ」に染まらない生徒指導</p> <p>7. 「いきいき栃木っ子3あい運動」の実践 (1) 生徒相互、生徒と職員、職員と保護者（地域）との人間関係の醸成</p> <p>8. 開かれた学校の推進 (1) 家庭や地域、関係機関との生徒指導面での連携強化 (2) 地域の有能な人材の活用 (3) 「学校ブログ」を日々更新により、教育活動のリアルタイム公開</p> <p>9. 教育環境の充実と整備 (1) 施設、設備の充実とメンテナンス (2) 創造的で教育環境にふさわしい人的・物的な環境整備</p>	<p>* 以下、書かれている戦略について、職員や保護者・地域とともに実践する。</p>	<p>*（保）保護者・地域からの学校支援の実例</p>